

# 診療体制や 医師を紹介

## 製鉄記念室蘭病院の 消化器・血液腫瘍内科

製鉄記念室蘭病院 実績など両科の情報を（松木高雪院長）の消化器・血液腫瘍内科が患者や家族の参考にも「地域医療連携パンフ」になっている。

# 初のパンフ作製

0件。このうち消化器・血液腫瘍内科は1595件と、全体の4分の1程度を占めている。

ただ、患者や家族、さらには紹介元となる医療機関の医師など

「得意分野」とする胃がんや大腸がんの治療・対応レベルなど、全34疾患・症状について、同院で現在行っている治療法などについても解説した。

計200部作製。同院と連携する西胆振を中心とした医療機関などに配布した。前田征洋副院長（消化器・血液腫瘍内科）は「より

「顔の見える連携」をコンセプトに、診療体制や医師の紹介、症例数、2012年度（平成24年度）で約650

同院によると、西胆

## 顔の見える連携めざし

が、同病院の診療実態や診療レベルなどの情報について、十分把握していないケースもあったという。

判、22歳。医師9人の経歴や専門・得意分野一覧表、内視鏡検査実績のほか、最先端の消化器内視鏡機器など検査機器の特徴についても説明。

よい地域医療連携を進めるため、患者さんやご家族の病院選択時をはじめ、（連携する医療機関の）先生方にも参考資料として使っていたければ」と話している。（松岡秀宜）

特に、がん患者は不安を抱えることも多いため、同院は「患者や家族に高い信頼感を

また、症例や疾患領域別の対応一覧では、



製鉄記念室蘭病院消化器・血液腫瘍内科の「地域医療連携パンフレット」と前田副院長